

新商品 “上座間（うえさま）” “

商品企画 & 商品概要説明



～これから増える訪日外国人、高齢者のお客様へ向けて、日本の新しいおもてなしアイテム～

お客様でお手持ちの
和座椅子と座布団を・・・



座面の高い椅子へ変更でき、
高座椅子として使用できます！



本商品”上座間”の上に
のせて、固定するだけで・・・

1. 商品企画説明

1. 商品企画説明

- 1-1. はじめに（丸菱工業について） . . . P. 04～05
- 1-2. 商品企画のきっかけ . . . P. 06
- 1-3. 商品具体案の検討経緯 . . . P. 07
- 1-4. 市場分析 . . . P. 08～11
- 1-5. 商品企画の目的 . . . P. 12
- 1-6. 販売ターゲット . . . P. 13
- 1-7. 商品コンセプト . . . P. 14
- 1-8. 商品ポジショニング . . . P. 15
- 1-9. 販売計画について . . . P. 16

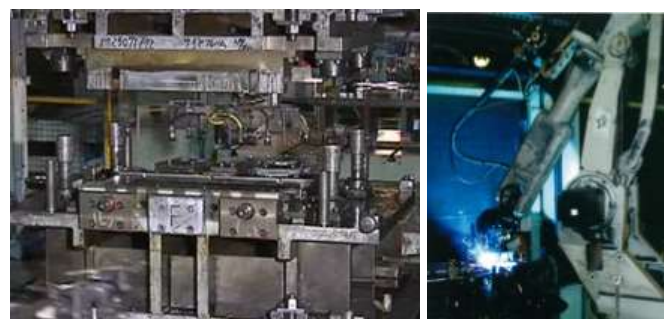
1-1. はじめに（丸菱工業について）

【丸菱工業（株）について】

丸菱工業（株）は愛知県小牧市にて1964年の創業以来、自動車用座席、内装部品を主力製品として開発、生産している自動車内装部品メーカーです。



開発設計



プレス・溶接



シート組立



検査・試験

1-1. はじめに（丸菱工業について）

【丸菱工業（株）オリジナル商品について】

弊社は、2009年リーマンショックを契機に、主力である自動車部品事業に加えて、自動車部品とは異なる分野での新規事業にて新たな収益の柱を育てようと、一般消費者向けの丸菱オリジナル商品事業に着手しました。

これまでの自動車用シートの開発・生産で培った技術を生かし、「“座る”をテーマにお客様が“最幸”と感じて頂ける商品を提供する」という理念のもとで様々な弊社オリジナル商品の開発・販売に取り組んでおり、今回の新商品“上座間”はその取り組みの中で生まれた商品となります。

【弊社オリジナル商品群】

- ・「仙骨サポート座布団」、「骨盤ざぶとん」
骨盤の中心部、背骨の一番下に位置する仙骨を支えることで着座時に正しい姿勢に導く座布団
- ・「CAGAC（カガック）」
子供向けの良い姿勢を保持できる座布団
- ・「スポットとチェア」
今後の高齢化社会に注目し、福祉業界への参入を考え、約100箇所の老人ホーム、デイサービス、介護施設等へ訪問、市場調査を行い、商品化しました立体的な座面形状で座り心地を追究した高齢者向けのダイニングチェア



1-2. 商品企画のきっかけ

【弊社社員が、実際に体験した話】

高齢の母親を連れて、ある飲食店に行ったところ、座敷席に案内された時の話です。

座敷席には、和座椅子が用意されていましたが、母親は膝が悪いので、座面少しあげた高座椅子を用意してもらおうよう飲食店側に要望しました。

こちらも事前に高座椅子が必要との連絡もしていなかったため、飲食店側は急遽、和座椅子から高座椅子に入替する作業をすることになりました。しかし、用意した高座椅子はサイズが大きく、重たく、入替作業を担当した方が女性だったこともあり、労力と時間がかかり、大変苦勞されているように見えました。その後、隣席に座った別の高齢女性のお客様が同じ高座椅子に座りたいとの要望が出ましたが、その飲食店では収納等の問題で高座椅子の脚数を少数に限られているようで、すべて使用中だったため、そのお客様は我慢をし、和座椅子に座られました。



その後、この体験をした社員は、

“コンパクトサイズでもっと簡単に用意できる高座椅子商品であれば、

お客様側、飲食店側の双方の課題を解決できるのでは？”と、弊社内で新しい高座椅子の商品企画を立案、高座椅子の市場分析、数々の試作・評価を行いました。

当初、持ち運び、収納性も考え、コンパクトに折り畳める高座椅子にて試作をしていましたが、実際に使用いただく旅館・飲食店で評価頂いたところ、折り畳めるのは良いが、“和室に合わない”

“重い”など厳しい評価が多く、商品構想で悩んでおりました。



そんな状況の中、弊社社長より“既に置いてある和座椅子を使って高座椅子にできるアタッチメント商品であれば、軽くてコンパクトな製品になり、見た目も慣れ親しんだ和座椅子を使うので、受入れやすいのでは？”とのアドバイスを頂き、今回の“上座間”を開発するきっかけとなりました。

1-3. 商品具体案の検討経緯

【開発スタート～第1次案】（2015年5月～）
折りたたみタイプの高座椅子



着座時

収納時

試作品を宿泊施設等で評価頂いたところ、コンパクトに収納できる点は良いが、

- ・サイズが大きい
- ・重量が重い（重量8.5kg）
- ・和室の雰囲気にな合わない

などのデメリット評価があった。

【第2次案】（2015年8月）
既存で販売されている和座椅子を使って
の高座椅子できる台座



第1次案での評価をもとに、
弊社社長より、

“既存和座椅子を使って高座椅子にできる商品が受け入れやすいのでは？”
とのアドバイスをもとに和座椅子用アタッチメント台座商品として開発。

しかし

- ・サイズが大きい
 - ・重量が重い（重量5kg）
 - ・肘掛けが邪魔になる
- などのデメリット評価もあった。

【最終案】（2016年2月）



重量3kg代

第3次案をベースに
脚部を畳ざり形状に改良し、
畳へのダメージ配慮

【第3次案】（2015年10月）
第2次案の改良案（コンパクト化）



第2次案をベースに改良。
宿泊施設等で再評価頂いたところ、
軽量な点（重量3kg）で持ち運びが
しやすいと好評ではあったが、

- ・脚部の畳へのダメージに対する配慮が、
もう少し必要

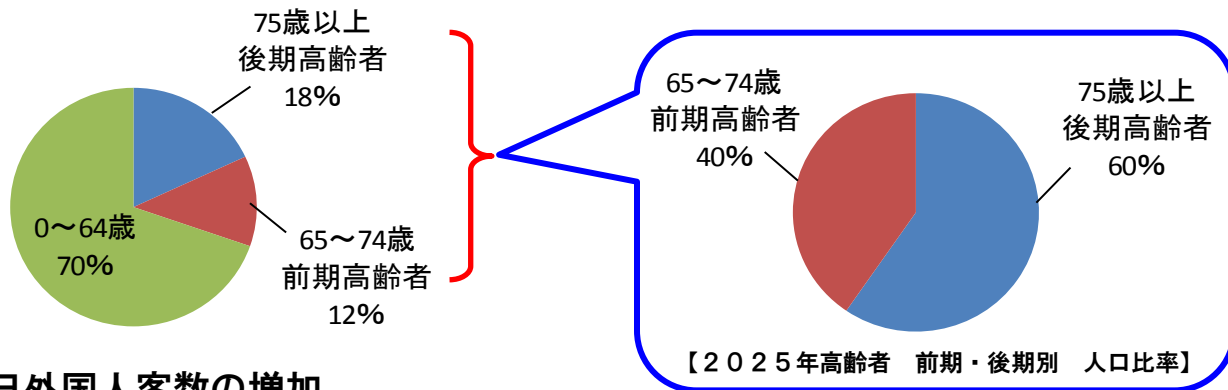
などの評価があった。

【今後の日本国内で考えられる状況】

◎高齢人口の増加

2025年の国内年齢別人口比率予測

※国立社会保障・人口問題研究所資料データより出典

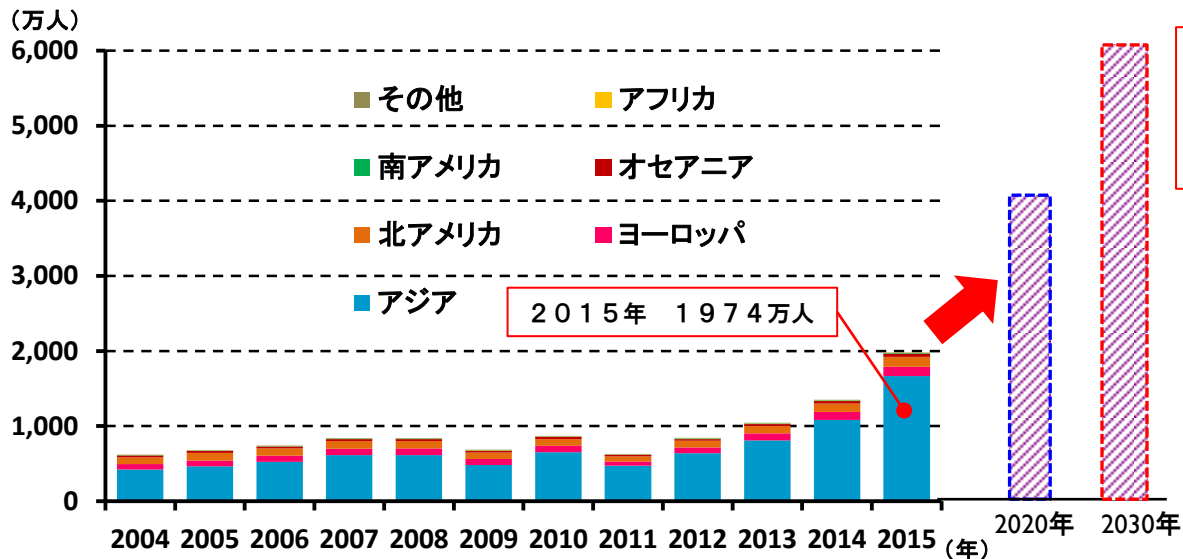


・超高齢化
⇒高齢者は全体人口の30%、
その中でも75歳以上
後期高齢者は60%

◎訪日外国人客数の増加

2004~2015年 訪日外国人客数の推移

※日本政府観光局（JNTO）より出典



訪日外国人客数の目標設定（日本政府発表）

- ・2020年 4000万人
（2020年 東京オリンピック開催）
- ・2030年 6000万人

・訪日外国人客数の増加
⇒2020年（5年後）
には現在の約2倍に増加

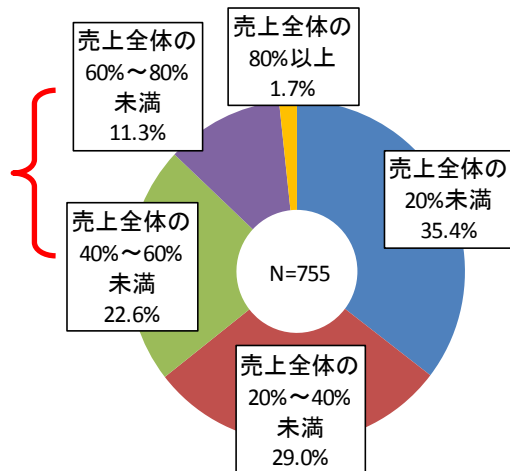
【国内宿泊施設に関する状況】（宿泊施設に対するアンケート）

※日本政策金融公庫 2013年2月発表

国内宿泊施設の利用に関する消費者意識と旅館業の経営実態アンケート調査より出典

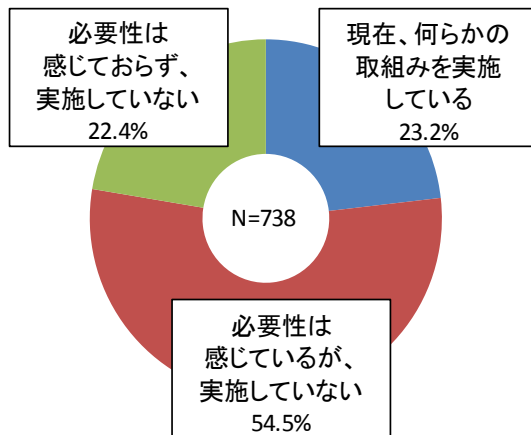
◎1年間の宿泊売上全体に対するシニア層売上割合比率

・宿泊売上全体に対するシニア層による売上が50%近くあると答えた宿泊施設が約3割



◎シニア層の集客に向けた取り組みの実施状況

・“必要性は感じているが、実施していない”と答えた宿泊施設が約5割

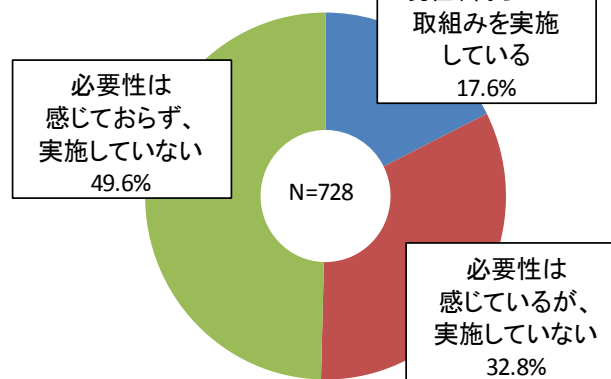


◎外国人の集客に向けた取り組みの実施状況

必要性は感じておらず、実施していない
49.6%

現在、何らかの取り組みを実施している
17.6%

必要性は感じているが、実施していない
32.8%



・“必要性は感じているが、実施していない”と答えた宿泊施設が約3割

1-4. 市場分析

【販売されている高座椅子商品の状況】（弊社調べ）

タイプ	写真	特徴	重量
一般家庭向け		<ul style="list-style-type: none">・木工製が多く、プライベート感を・立ち上がりしやすくするため、肘掛有りタイプが多い・長時間座ってもリラックスできることを目的 (座面高さ調整、リクライニング付きが多い)・サイズは大きく、重量も重い・持ち運びしやすさ、収納性はあまり考慮されていない。	6～10kg
宿泊施設・飲食店向け		<ul style="list-style-type: none">・木工製が多く、おもてなし感を高める和風の質感が高い・食事の際に邪魔になることが多いので、肘掛無しタイプが多い・食事時など短時間座ることを目的・家庭用に比べて抑えているが、サイズは大きく、重量も重い・脚数を多く用意される為、収納性を考慮している	6～8kg
寺院向け		<ul style="list-style-type: none">・金属パイプ製が多い・法事など短時間座ることを目的・宿泊施設向けに比べ、質感を下げ、簡素化している。・脚数を多く用意する為、収納性を考慮している	4～5kg

高座椅子は全体的に重く、サイズも大きい為、椅子の持ち運びには適していない。

【和座椅子に対する海外の外国人からのイメージ】 (インターネット上での海外サイトの評価 弊社調べ)

内容	参照元
<p>外国人には理解できない日本人にありがちな行動の中で、“床の上に座る行為”を紹介</p> <p>2 床の上に座る</p> <p>「日本人って床の上で生活しているんでしょ？」と聞かれたことがある方も多いのでは？豊のない欧米文化では床の上に座るという行為はあまりみられませんが、欧米では、床ではなくソファや椅子に座るのが常識。雑居の上に座ったり、床の上の座椅子に座るといった行為に抵抗感がある人は少なくないようです。</p> 	<p>マダムリリー.com サイトより抜粋 フランスをはじめとする「世界のおもしろい！」と「日本の不思議！」を発掘するサイト</p>
<p>京都の旅館をイメージした秋葉原のネットカフェ「和style.cafe」のカフェ内写真が海外サイトで紹介されたときの反応 (翻訳済)</p>  <p>海外の名無しさんを翻訳しました この座椅子が欲しい</p> <p>海外の名無しさんを翻訳しました 今回も、自分の部屋に完璧だけど、どこで買えるのか分からない。</p> <p>海外の名無しさんを翻訳しました 日本は本当に素晴らしい 私の家もこんな感じにしたい。</p>	<p>海外サイト“kotaku.com”より “japans-most-traditional-internet-café”</p>
<p>“日本の伝統的な部屋”として下記写真が海外サイトで紹介されたときの反応 (翻訳済)</p>  <p>海外の名無しさんを翻訳しました どうやってこの椅子に座るんだい？</p> <p>海外の名無しさんを翻訳しました 足を伸ばすか、組むか、正座するんだよ。どれくらい正式な場か、君の身体の柔らかさに応じてね</p> <p>海外の名無しさんを翻訳しました いいね。僕のインド人の家族がするのよりずっといいよ。ただ地面にマットを敷いて、その周りに座って食べるんだ</p> <p>海外の名無しさんを翻訳しました うん、落ち着かなさそう</p> <p>海外の名無しさんを翻訳しました この椅子は、実際はかなり上流のものだよ。ほとんどの人が、家では西洋式の「高い」テーブルとイスを使ってる。それか、テーブルだけおいて、床かクッションの上で座る。だから、この椅子は、すごくフォーマルな場で使われて、あんまりくつろいだ感じで座ることはできないよ</p>	<p>海外情報紹介サイト “tamenal.com”より</p>



和風の要素をもつ和座椅子は海外では人気が高い。しかし実際は、海外では椅子に座る文化が主流のため、床に座る和座椅子の座り方に戸惑う方も多い。

1-5. 商品企画の目的

P.12

市場分析結果より

- ・ 高齢のお客様の増加
- ・ 外国からの訪日お客様の急増

に対し、宿泊施設や飲食店等は、労力・費用等の様々な都合で、上記お客様の集客に向けた取り組みが十分にできていないのが現状



宿泊施設や飲食店等のお座敷に注目すると、和座椅子が置かれているところが多く見受けられる。和座椅子は、和風的な外観と機能性を伴っており、和室内でのおもてなしアイテムのひとつとして広まっているが、座面が低く座ることになるため、

- ・ 膝の悪いご高齢の方にとっては座りづらい。
 - ・ 訪日外国人の方の中には、欧米の椅子に座る文化とは違い、ほぼ床面に座るために抵抗感を持つ方もいる。
- といった課題がある。



宿泊施設・飲食店様側としても、高齢者、訪日外国人のお客様に対するおもてなし対応は重要と認識しており、座面の高い高座椅子の導入を検討していますが、

- ・ 高座椅子はサイズが大きく、重量も重く、収納場所に困るので、必要最低限の高座椅子しか用意できない。
 - ・ お客様からの急な高座椅子要望に対し、和座椅子からの変更作業に負担・時間がかかるため、対応が難しい。
 - ・ お客様の中には、和座椅子独特の和風的な外観、機能面（背もたれのしなり）等を好む方もいる。
- といった課題があり、高座椅子の導入が進んでいない状況がある。



座るお客様側と宿泊施設・飲食店様側が抱えるそれぞれの課題を解決できる和座椅子アタッチメント商品を開発する。



1-6. 販売ターゲット

【販売ターゲット】

① 下記内容に該当する宿泊施設・飲食店様

- 座敷、宴席にて和座椅子を使用しているが、まだ高座椅子の設置は進んでいない
- 今後、訪日外国人の方・高齢の方に対する集客を考えている
- 高座椅子を入れたいが、すべて高座椅子に変更すると、導入費用、収納スペース等の問題でできないので、必要な席だけ高座椅子にし、従来の和座椅子との併用を考えている
- 和座椅子⇔高座椅子の変更の機会が多く、変更の度に交換作業に苦労している
(人手不足、労力負担大、等)

② 一般の方（和風的な和座椅子に興味がある外国人の方等）



宴席での和座椅子を用いた状態



すべて高座椅子にすると、
・レイアウト配置や変更制限がある
・導入費用や収納スペースの問題がある
などの理由があり、
従来の和座椅子との併用をしたいと
お考えの宿泊施設・飲食店様に…



新商品“上座間”

必要な席だけ高座椅子に変更



【参考】宴席ですべて高座椅子に配置した状態

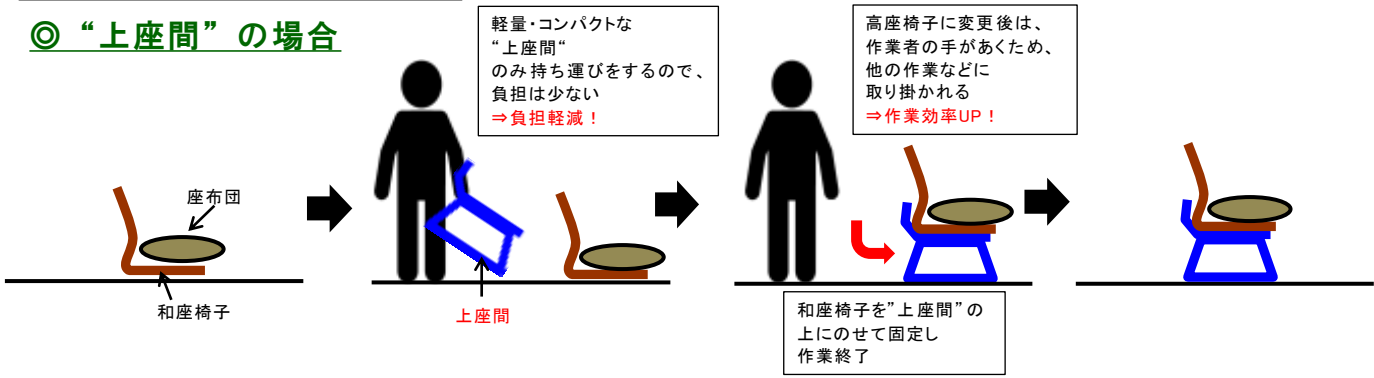
1-7. 商品コンセプト

【商品コンセプト】

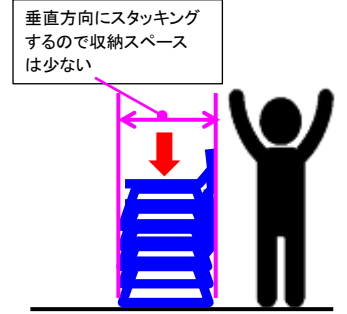
- 持ち運びしやすく、コンパクトサイズで軽量であること。
- 和風的な既存の和座椅子を用いることで、和風的な質感の維持しつつ、和座椅子⇄高座椅子に変更時、作業者の負担軽減と作業効率の向上をさせる
- 急な要望時でも、簡単に手早く高座椅子を取付・取り外しできる。
- 複数脚あっても、不要な時は積み重ね等により省スペースに抑えられること。
- 和室内に使用しても違和感のない外観
- 体重の重い外国人の方の使用に耐える強度（体重130kgを想定）

和座椅子から高座椅子への変更時の作業負担軽減、効率UP

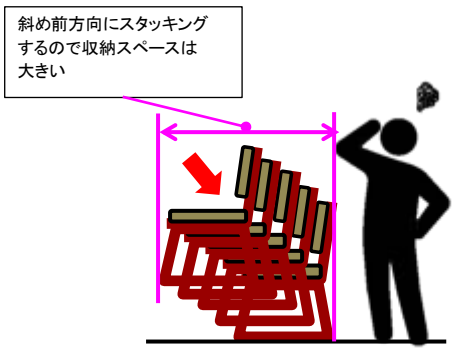
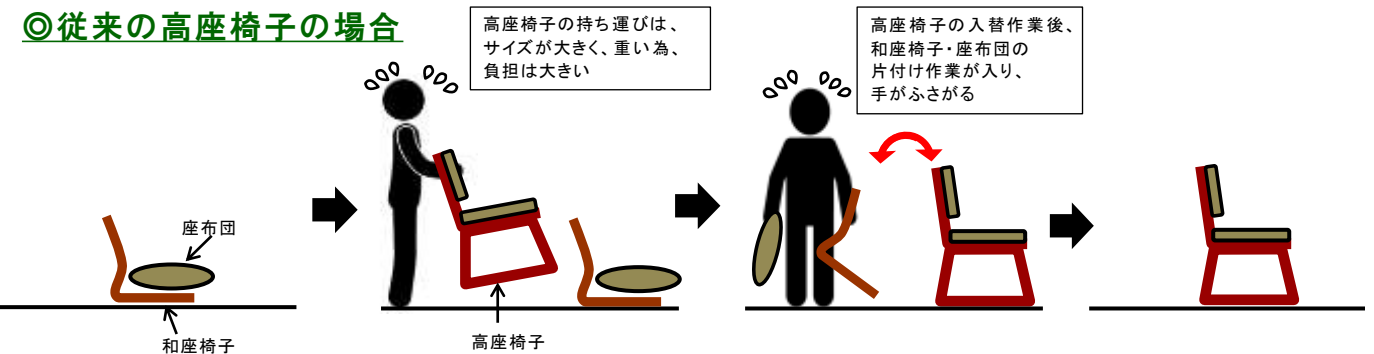
◎ “上座間” の場合



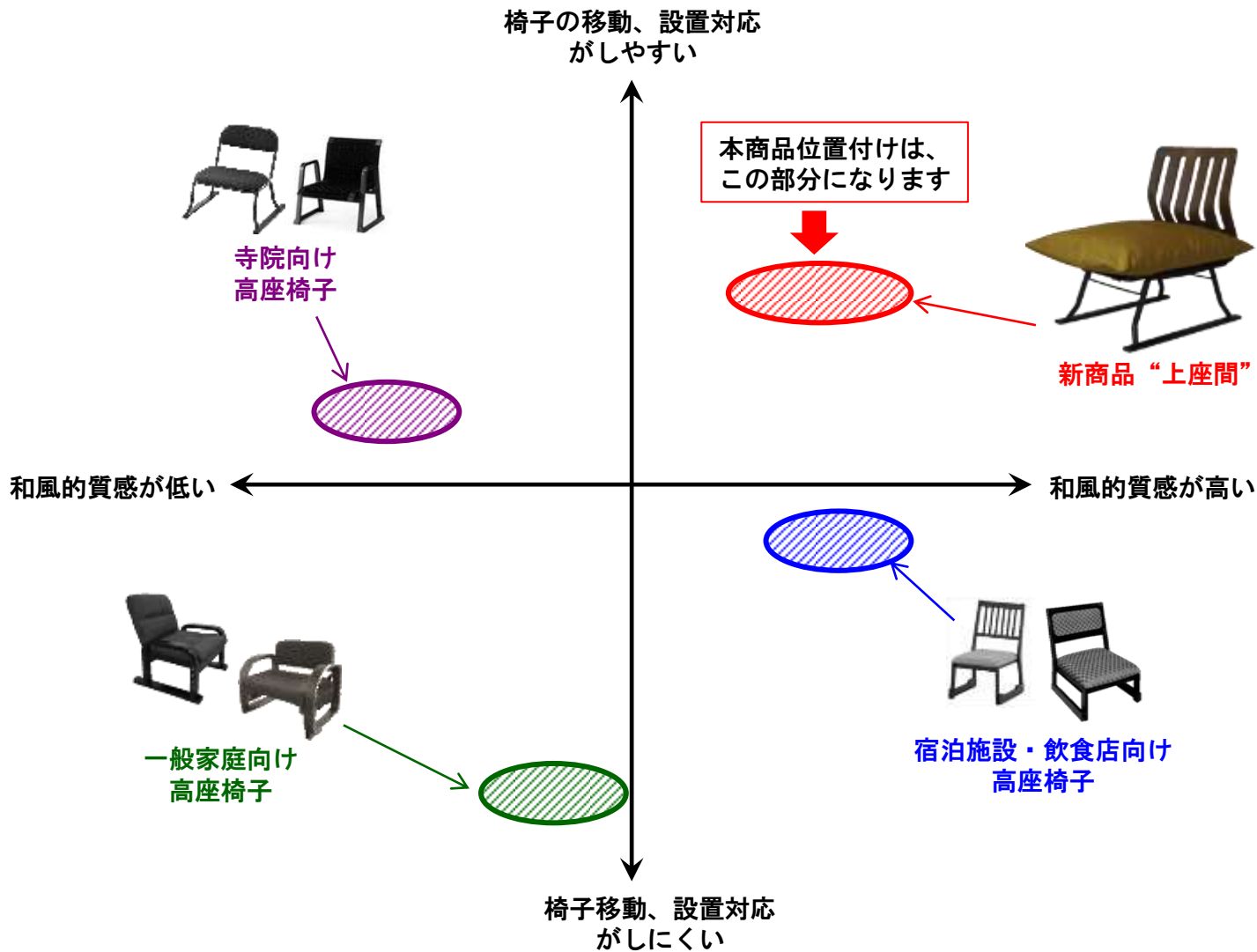
収納スペースの省スペース化



◎ 従来の高座椅子の場合



1-8. 商品ポジショニング



1-9. 販売計画について

P.16

【販売開始予定】

2016年12月～

【販売予定価格】

希望小売価格 ¥18,000-（税抜、送料別）

【販売予定ルート】

- ・丸菱工業より直販
- ・宿泊施設向け備品を取り扱う卸・小売店経由での販売
- ・雑貨向け卸・小売店経由での販売

【今後の展望】

現在、岐阜県内の旅館様にて、試験的に運用中です。

本商品に類似した機能をもった商品がなく、まだ広く知られていないため、

今後2020年の東京オリンピック開催に向けて増加傾向にある外国からのお客様や、高齢のお客様に対し、関連する展示会への出展等により、日本の新しいおもてなしアイテムとして広く周知させていきたいと考えております。

<活動予定>

- ・宿泊施設向けパンフレット資料配布
- ・展示会への出展（予定）によるPR活動
 - 2016年3月 健康博覧会（東京）
 - 2016年4月 バリアフリー展（大阪）
 - 2016年6月 ウェルフェア（名古屋）
 - 2016年10月 国際福祉機器展（東京）
 - 2017年2月 国際ホテル・レストランショー（東京）
- ・マスメディアを通じた広報活動



2. 商品概要説明

2. 商品概要説明

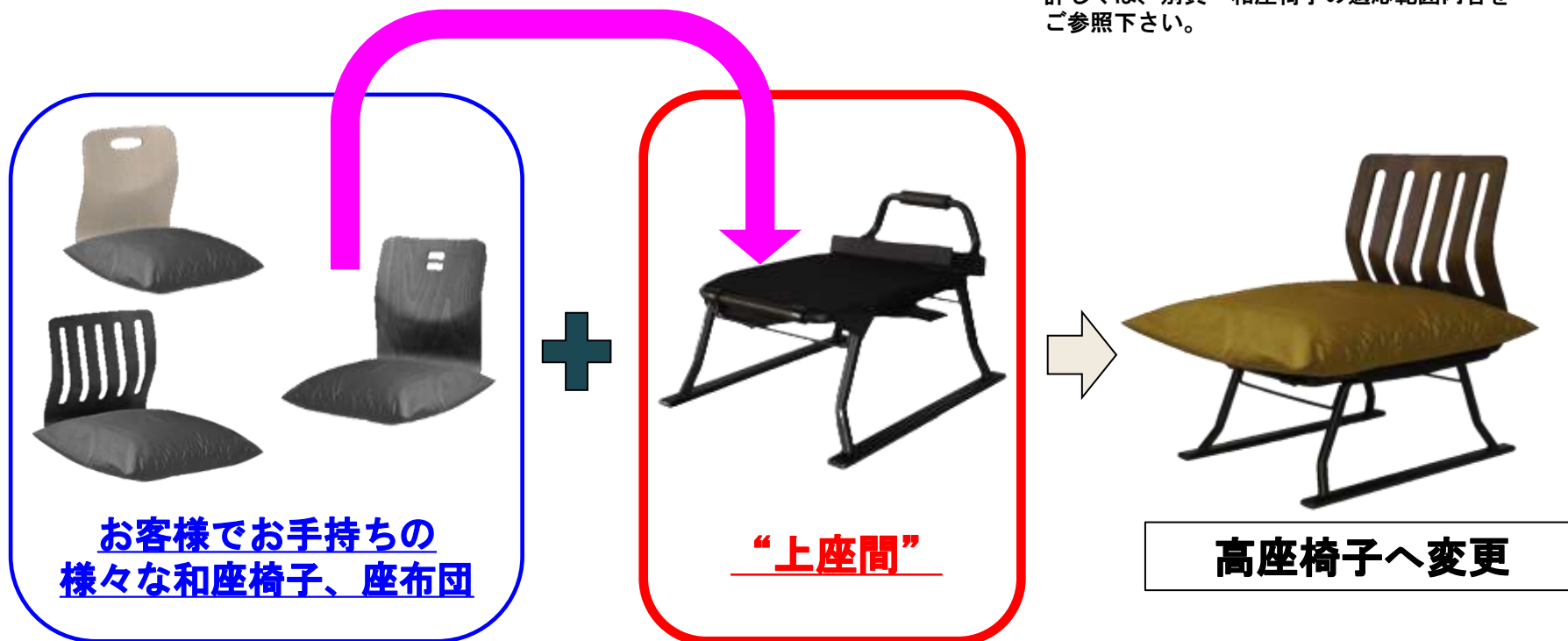
- 2-1. “上座間”の特徴（特徴①～⑧） . . . P. 19～26
- 2-2. “上座間”の仕様について . . . P. 27
- 2-3. 本商品に取付可能な和座椅子の適応範囲について . . . P. 28

2-1. “上座間”の特徴

【特徴①】 既存の和座椅子を使って、高座椅子へ変更可能

お手持ちの様々な和座椅子※1を この“上座間”にのせて固定することで、床置きタイプの和座椅子から高座椅子へ変更し、使用できます。

※1. 一部の座椅子は使用できない場合があります。
詳しくは、別頁 和座椅子の適応範囲内容をご参照下さい。



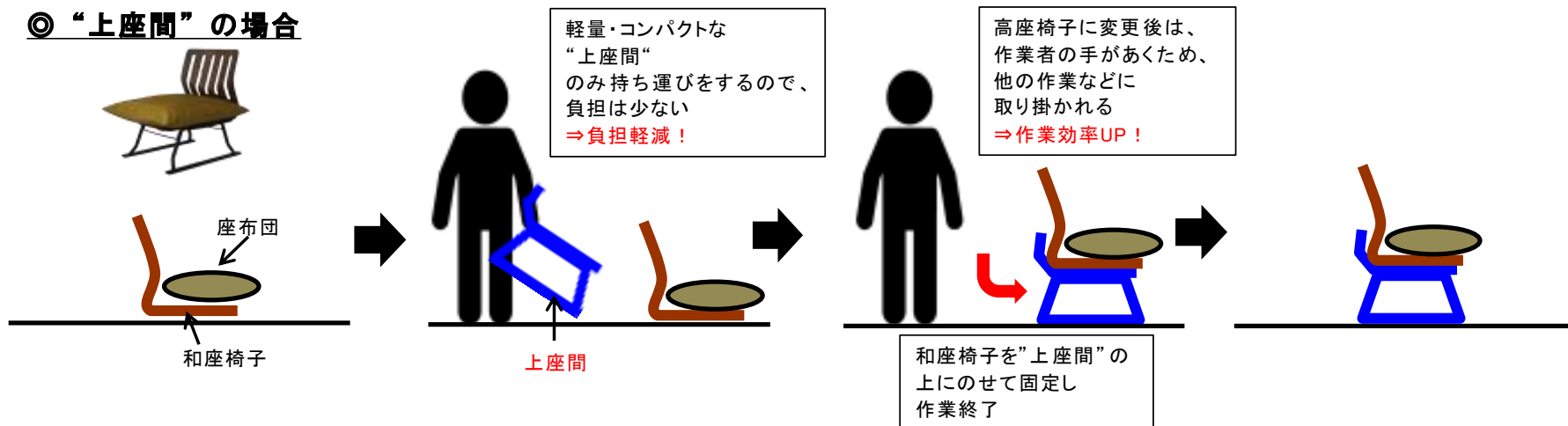
2-1. “上座間”の特徴

【特徴②】 高座椅子への変更作業時の負担軽減、作業効率UP

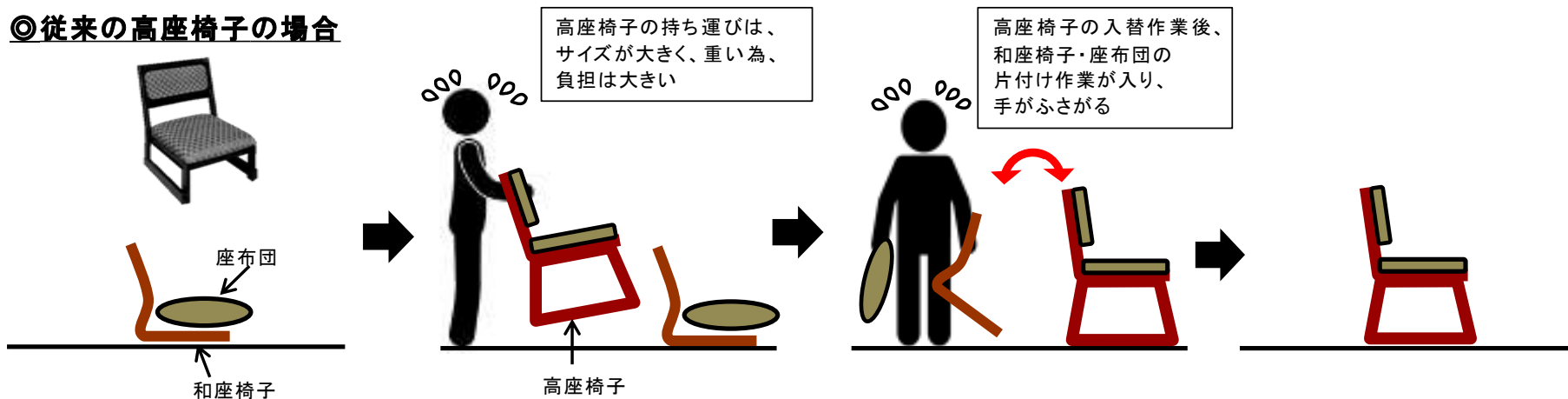
和座椅子⇔高座椅子への変更作業時の負担を減らし、かつ作業効率をあげることができます。

＜和座椅子から高座椅子への変更作業比較＞（高座椅子から和座椅子への変更時は逆パターンになります）

◎ “上座間”の場合



◎従来の高座椅子の場合



2-1. “上座間”の特徴

【特徴③】 和室への外観適応性

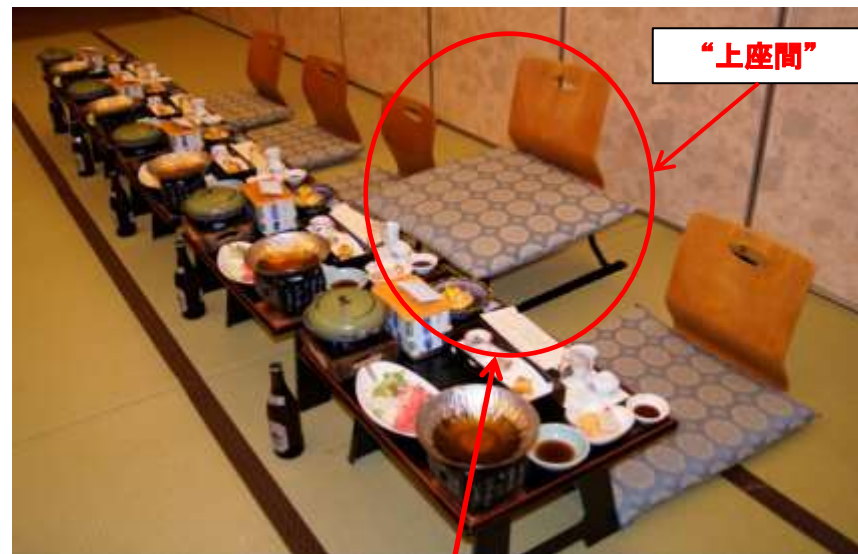
和室においても外観上、違和感なくご使用頂けます。



和室の雰囲気
を損ねない
黒色の艶消し
塗装仕上げ

畳を傷めにくい
畳ずり脚形状

着座時に足の動きに
邪魔にならない脚形状

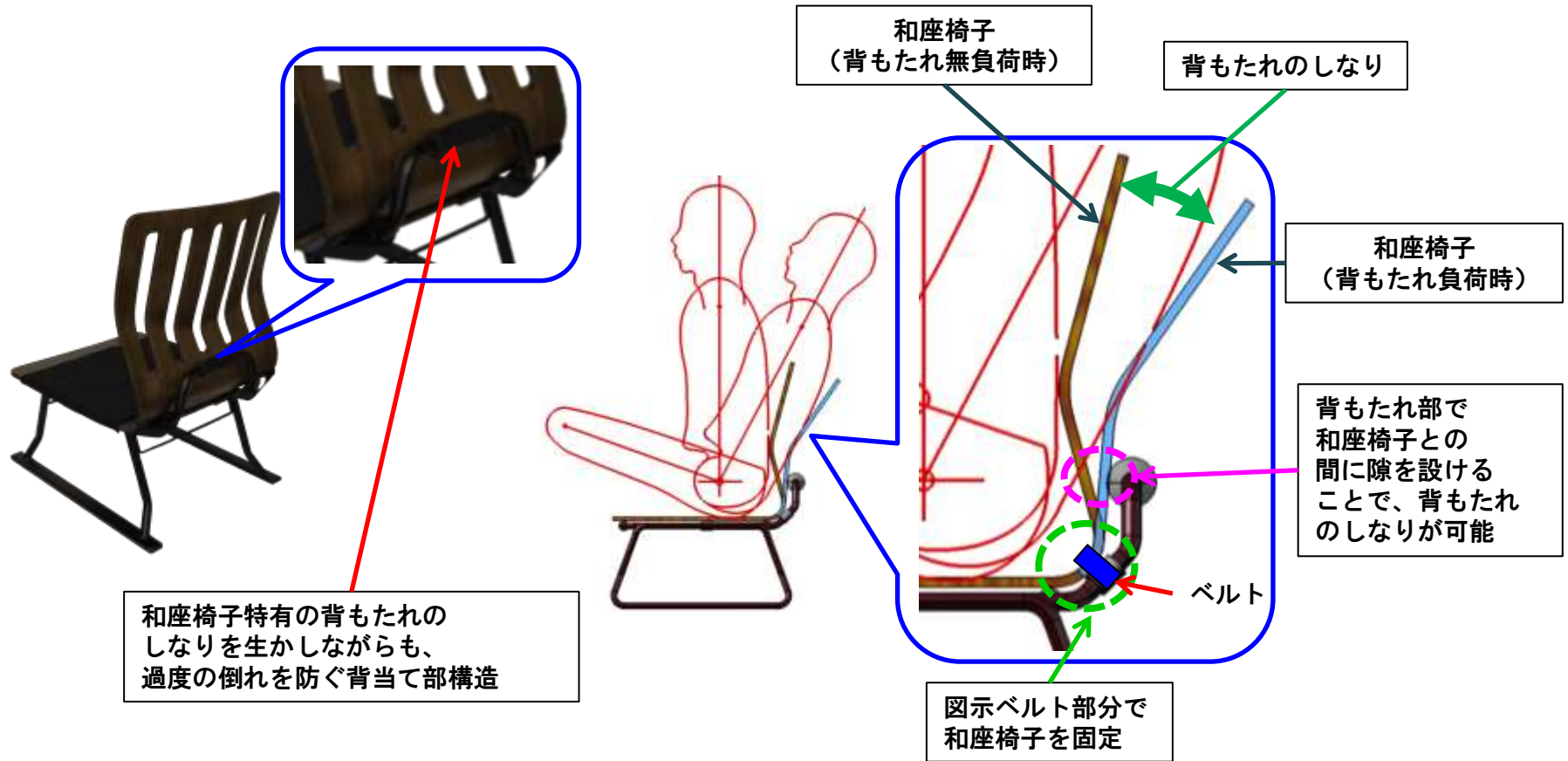


和座椅子を並べた宴会等でも、
周りとの特別感、違和感なく、
高座椅子として使用できます。

2-1. “上座間”の特徴

【特徴④】 背もたれ部の過度な倒れ防止構造

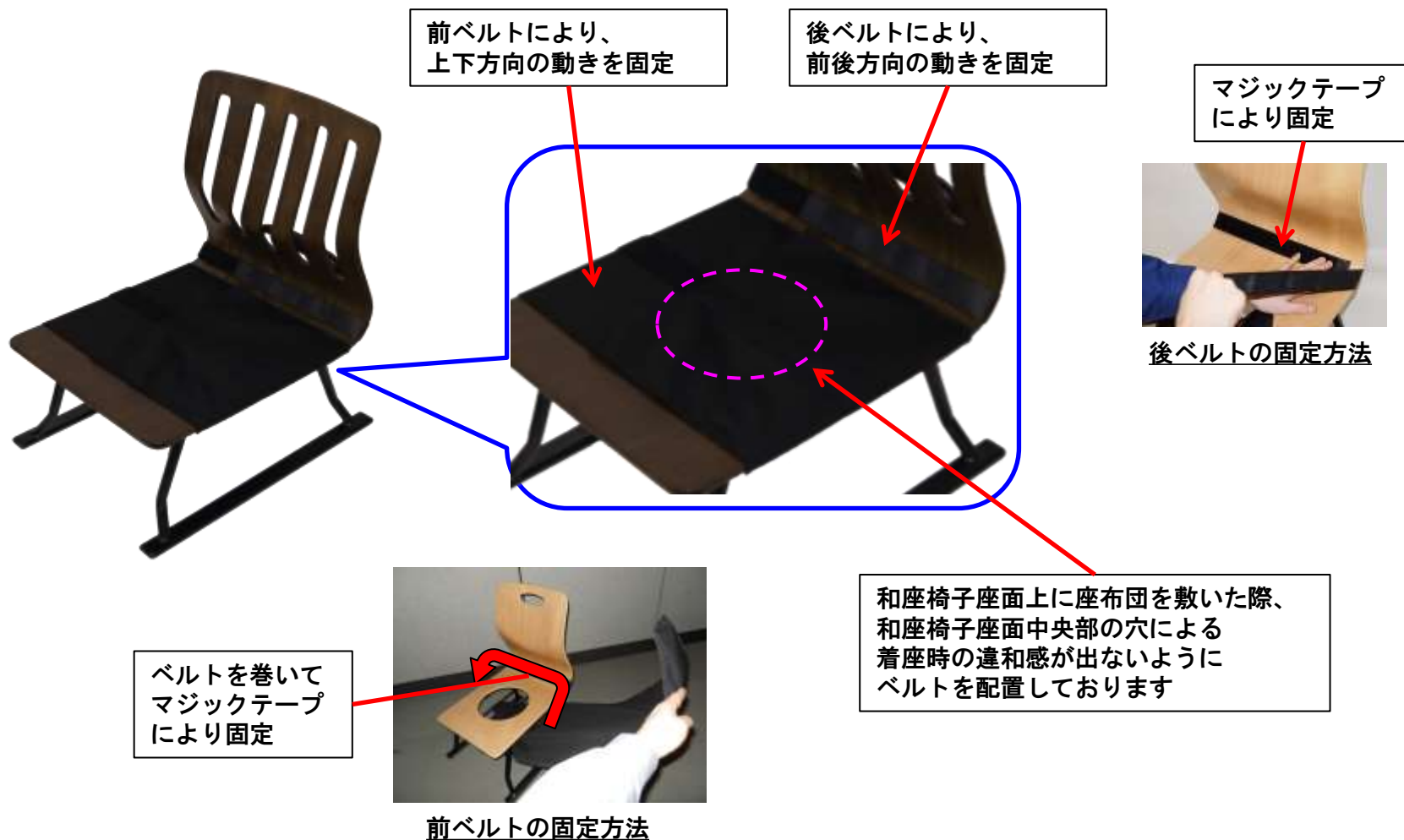
和座椅子特有の背もたれのしなりを生かしながらも、しっかりと和座椅子を固定できます。



2-1. “上座間”の特徴

【特徴⑤】 和座椅子の固定方法

マジックファスナタイプのベルトにより、手早く簡単に、そしてしっかりと和座椅子を固定できます。

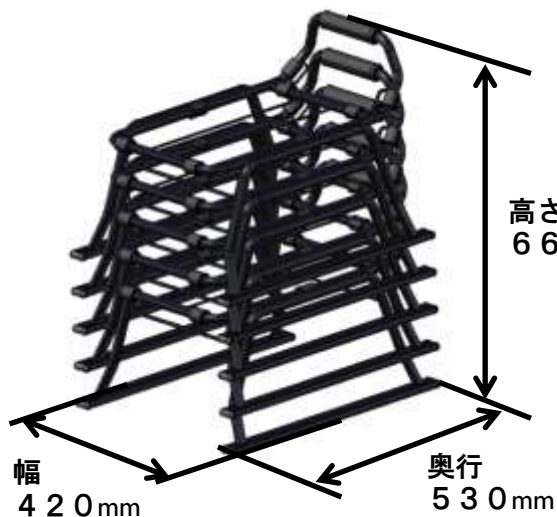


2-1. “上座間”の特徴

【特徴⑥】 収納スペースの省スペース化

複数脚あっても、積み重ね（スタッキング）ができ、すっきりと収納可能です。

※2. 5脚分の高さ。
1脚分追加ごとに70mm高さ増加
10脚分で1010mm (33kg)
<380mm + (70mm × 9脚)>



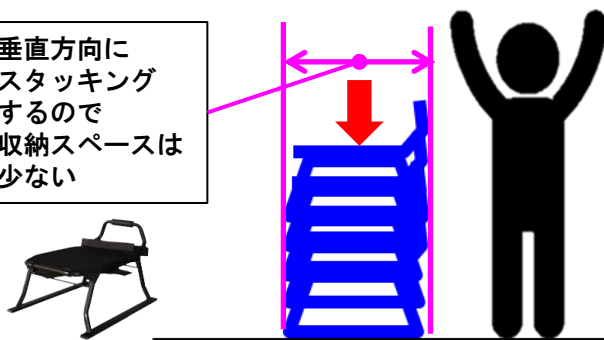
積み重ね（スタッキング）状態・・・5脚分（15kg）

積み重ね推奨限度数： 10脚（高さ 約1000mm）

【収納スペース比較】（同じ脚数スタッキング同士での比較イメージ）

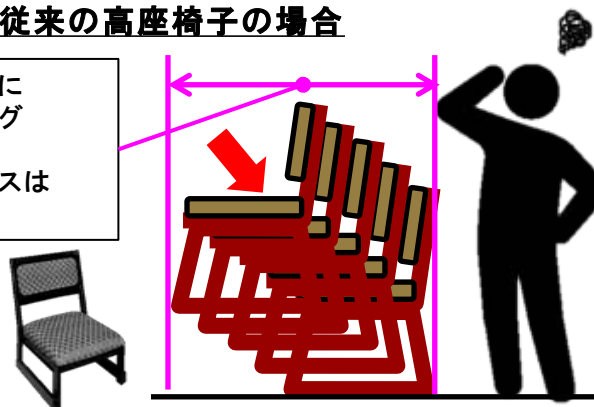
◎ “上座間” の場合

垂直方向にスタッキングするので収納スペースは少ない



◎ 従来の高座椅子の場合

斜め前方向にスタッキングするので収納スペースは大きい



2-1. “上座間”の特徴

【特徴⑦】 メンテナンスフリー

お客様での組立式ではなく、完成品ですので、開封後すぐにお使い頂けます。
また、ネジ、ボルト留め部は無い為、定期的な緩み確認などは不要です。

ネジ、ボルト留め部は無い為、
定期的な緩み確認などは不要



2-1. “上座間”の特徴

【特徴⑧】 強度

下記規格を満足できるように設計し、CAE解析、社内試験、第三者による公的機関※3での試験確認を実施しております。

◎JIS規格 S1203 (家具—いす及びスツール 強度と耐久性試験方法) 試験区分4



大柄な外国人観光客の利用も想定した強度設定
耐荷重 130kg
としております。

7.1項 座面の静的強度



7.7項 脚部の静的前方強度

7.8項 脚部の静的側方強度



7.10項 座面の耐衝撃性

旅館・ホテル等の公共性のある所での使用を想定し、JIS規格上の“試験区分4”を選択
●強度試験区分は1～5の5段階(区分5が最高)
区分2～3：一般家庭向け用途
区分3～4：オフィス・学校向け用途
区分4～5：公共施設向け用途

※3. 岐阜県生活技術研究所様にて試験確認

家具—いす及びスツール—強度と耐久性の試験方法
JIS S 1203:1998 (ISO 7173:1989)

試験	単位 期間	試験区分				
		1	2	3	4	5
7.1 座面の強度試験	力(N) 10回	—	1,100	1,300	1,600	2,000
7.2 背もたれの強度試験	力(N) 10回	—	410	560	760	760
約り合わせのために 座面に加える力	力(N)	—	1,100	1,300	1,600	2,000
7.3 ひじ部の静的水平力試験	力(N) 10回	200	300	400	600	900
頭もたせの静的水平力試験	力(N) 10回	—	200	300	400	500
7.4 ひじ部の静的垂直力試験	力(N) 10回	300	700	800	900	1,000
7.5 座面の耐久性試験	サイクル(回) 座面に加える力 950N	12,500	25,000	50,000	100,000	200,000
7.6 背もたれの耐久性試験	サイクル(回) 背もたれに加える力 330N 座面に加える力 950N	12,500	25,000	50,000	100,000	200,000
7.7 脚部の静的前方強度試験	力(N) 10回	300	375	500	620	760
約り合わせのために 座面に加える力	力(N)	780	780	1,000	1,250	1,800
7.8 脚部の静的側方強度試験	力(N) 10回	250	300	390	490	760
約り合わせのために 座面に加える力	力(N)	780	780	1,000	1,250	1,800
7.9 底部の対角強度試験	力(N) 10回	125	250	375	500	620
7.10 座面の耐衝撃性試験	落下高さ(mm) 10回	—	140	180	240	300
7.11 背もたれの耐衝撃性試験	高さ(mm) 角度(度) 10回	70	120	210	330	620
7.12 ひじ部の耐衝撃性試験	高さ(mm) 角度(度) 10回	20	28	38	48	68

7.13 落下試験は省略しています。

岐阜県生活技術研究所様
“椅子に関する強度試験について”より出典。

2-2. “上座間”の仕様について

【三面視サイズ・重量・材質】

軽量コンパクト設計で持ち運びがしやすく、製品は日本製です。

製品重量：3.3kg

【材質】

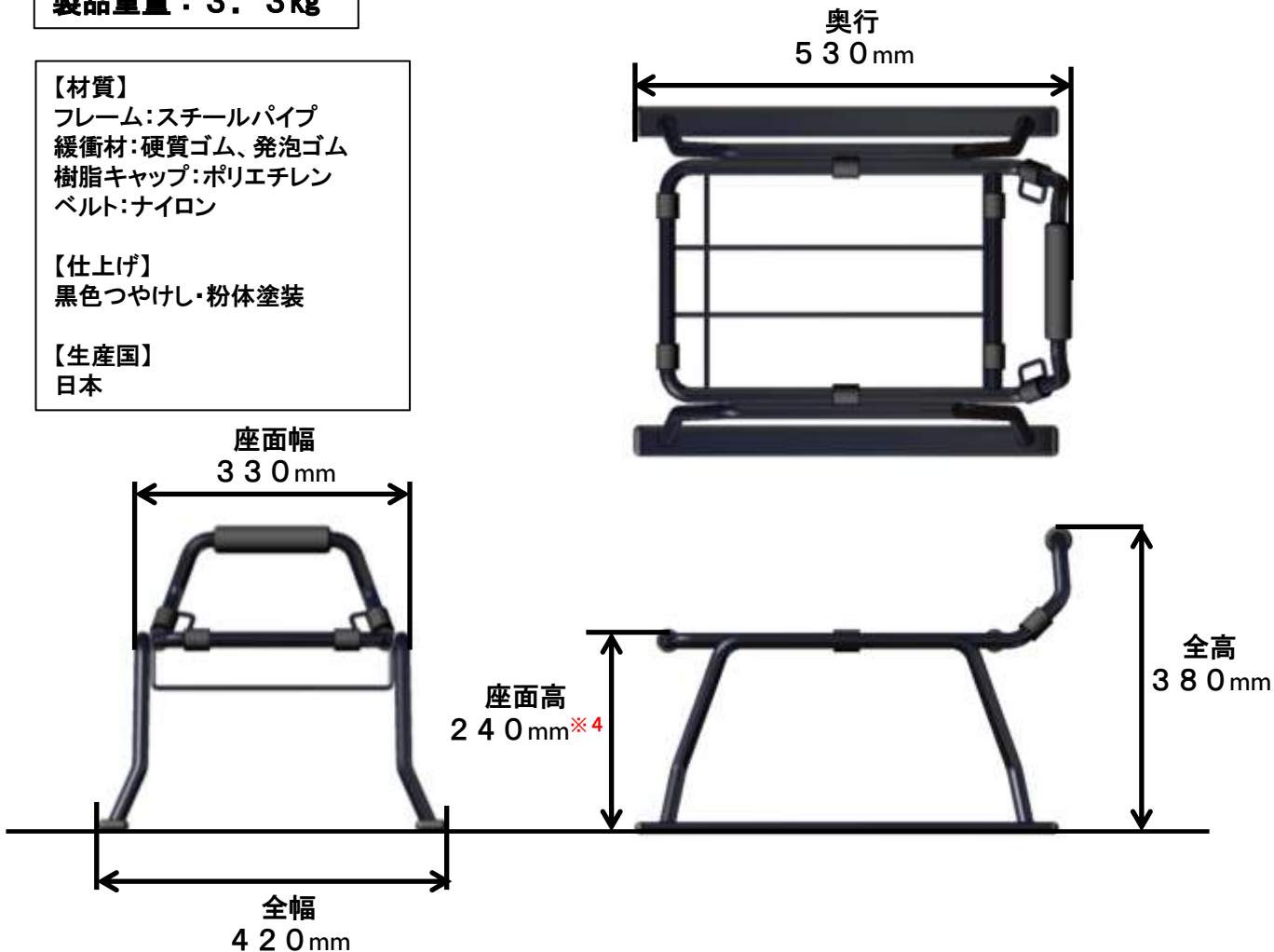
フレーム：スチールパイプ
緩衝材：硬質ゴム、発泡ゴム
樹脂キャップ：ポリエチレン
ベルト：ナイロン

【仕上げ】

黒色つやけし・粉体塗装

【生産国】

日本



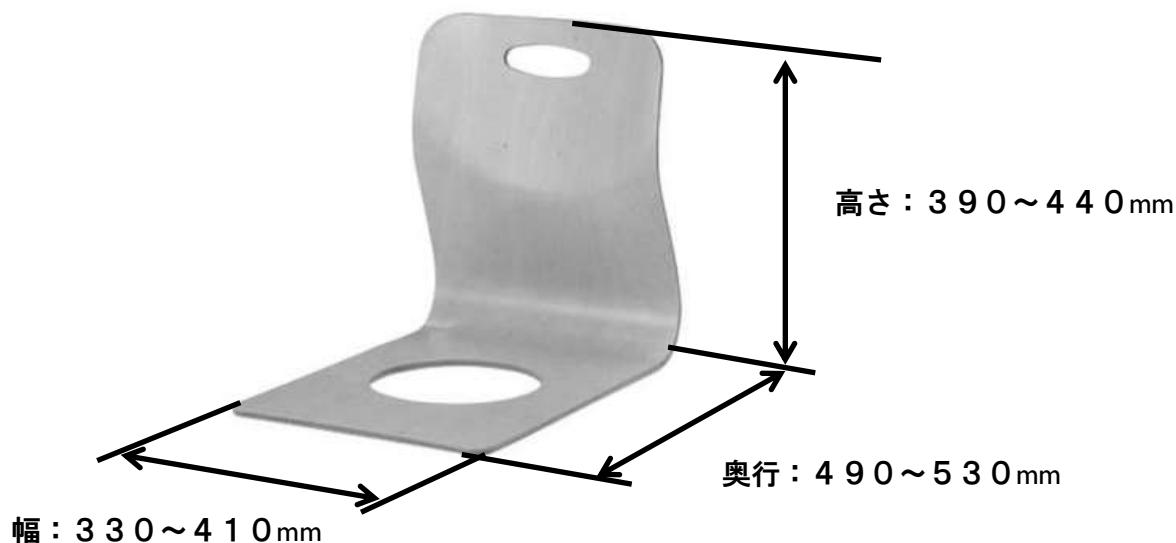
女性でも簡単に持ち運びが可能です。

※4. 座面高さは座椅子を含みません。座椅子込みでは、約260mmになります。

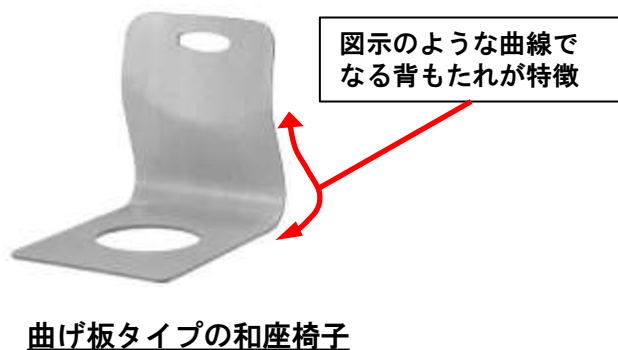
2-3. 本商品に取付可能な和座椅子の適応範囲について

【適応範囲】

下記和座椅子の適応形状・サイズ範囲にてご使用頂けます。



【適応可】



【適応不可】

下記適応不可の座椅子のタイプでは、当製品へ固定ができず、適応できない場合があります。
お客様の座椅子にて適応可否のご相談もできますので、お気軽にお問合せ下さい。



END

